

大阪ウォーキング連合 2月度ゆーほ例会  
「鉢かづき姫」の伝説を求めて  
(12km)

開催日 平成31年2月16日(土) (10:00)  
集合場所 JR/学研都市線/星田駅  
コース JR星田駅→伝・寝屋長者屋敷跡→西蓮寺→寝屋川の起点→成田山不動尊  
→打上川治水緑地→寝屋川公園→JR星田駅



鉢かづき姫伝説

奥方が十三歳になる姫の頭に身のまわりの品々を乗せ、黒い木鉢をかぶせておいて先立った。後ぞいが来て、子が生まれると姫の告げ口をしたので、殿方は姫をおい出す。姫は川へ身投げするが鉢のお蔭で沈まず、船頭に岸に追いやられて死ぬことも出来ない。

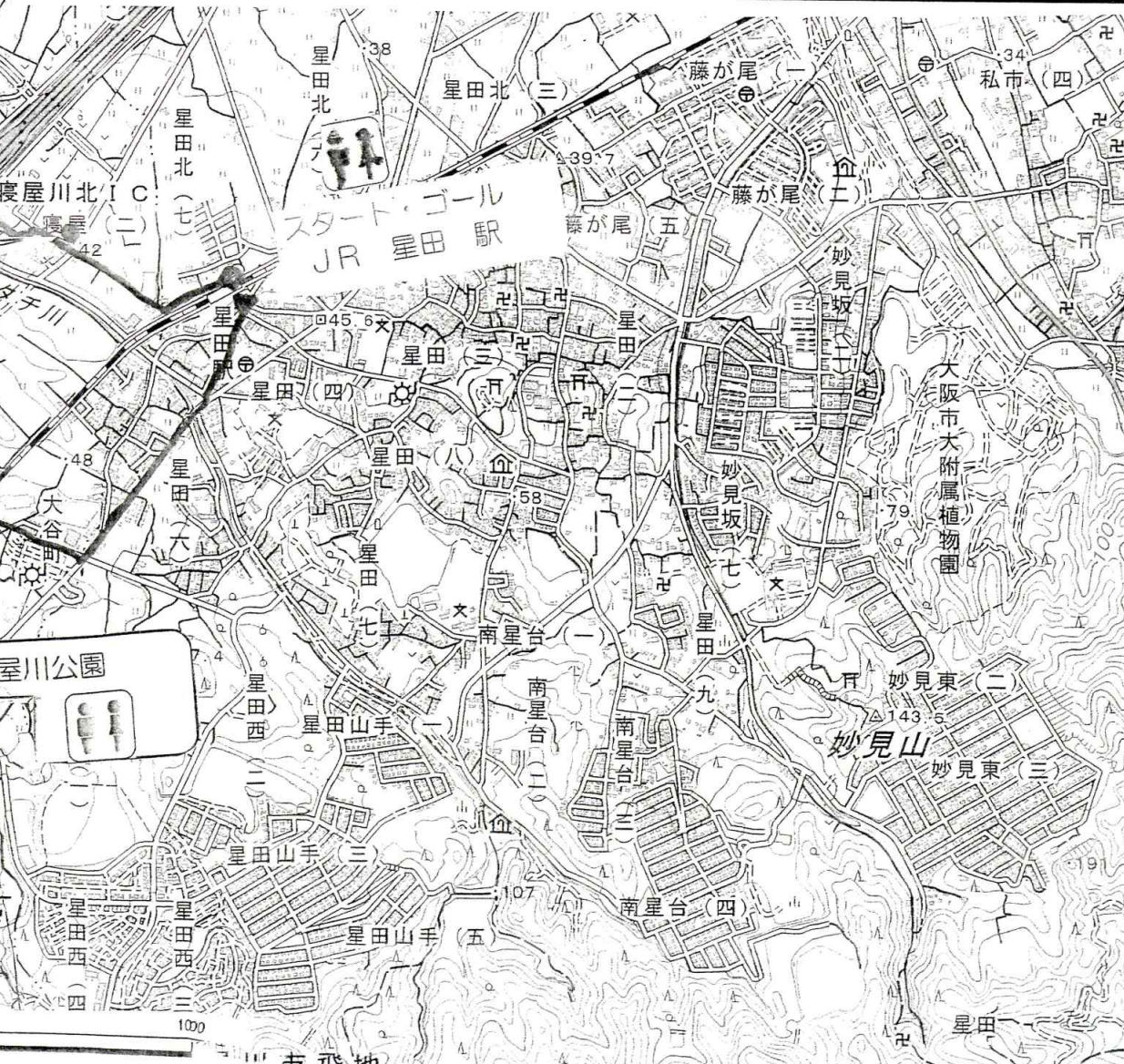
村人たちに「鉢かづき姫」と呼ばれて別の殿さまの邸前で泣いていると、家来に引き入れられる。優しい殿さまがわけを聞いて、取れぬ鉢はそのまま飯炊きにやとう。四人いる息子の末弟が独身で、夜の勉強の後、風呂で背中を流してもらい汚れ落ちた手を見て美声を聞いて嫁にと所望する。身分違いの組合せに不同意の親は乳母の発案で嫁比べをする。嫁が逃げ出した末弟が追い、もみあって鉢が落ち、中の宝物と美しい顔が現れる。

比べの当日、三人の兄嫁続いて現れた姫は鉢から出た宝飾と天性の美貌とで他を圧倒する。兄嫁たちが音楽の腕前を比べると、六段の調べを見事に弾き親たちにも望まれて末弟と結婚し、立派な奥様になって幸せに暮らした。

参考文献 『河州交野郡寝屋長者鉢記』(寝屋川市蔵)

箏曲六段の調べ

六段に始まり六段に終わるといわれるぐらい初級から上級にいたるまで幅広く演奏される曲です。



\*\*\* ウォーキングマナー五か条 \*\*\*

- やあ おはよう 明るい挨拶 さわやかに
- 信号であわてず あせらず 待つ余裕
- 広がるな 参加者だけの道じゃない。
- 歩かせて頂く土地に感謝して

※万一事故が発生しても当会は、損害保険の範囲内での責任しか負えませんのでご了承下さい。